

建築設備専用CAD -レブロー-

# Rebro<sup>®</sup> 2022

操作ガイド

～共有編～

## 第7章 共有編

### 1. 設定を共有する

共有の設定	1
共有できる設定	1
共有データを使う	4

### 2. 共有データを追加・編集する

追加・編集する	7
共有データをローカルにコピーする (社外に持ち出す)	12
ローカルデータを共有データにコピーする (管理者向け)	16
共有データのバックアップを取る (管理者向け)	22

※Rebro2022 より下位のバージョンで登録した共有ユーザー記号は、Rebro2022 で直接引き継ぐことができません。

下位バージョンのレプロより[単線記号の配置]ダイアログの[設定]-[ファイルに単線記号を保存]で共有のユーザー記号をファイルに保存し、保存したファイルを Rebro2022 の共有ユーザー記号に読み込みをお願いいたします。  
(読み込み方法については、p.20 をご確認ください。)

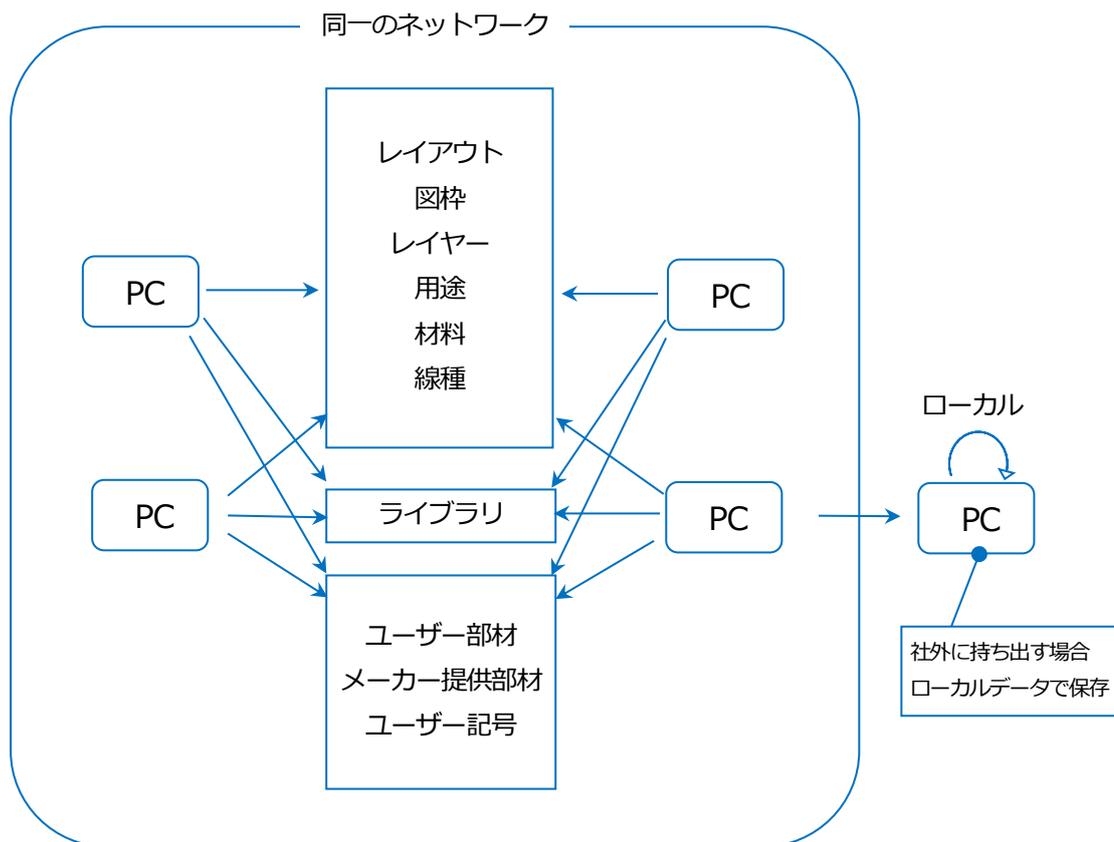
# 1.設定を共有する

## 共有の設定

複数のユーザーでネットワーク上の「設定」を共有して使用することができます。ネットワークから切り離して使用する場合は、一時的にローカル(PCの設定内容を参照)に切り替えられます。

## 共有できる設定

- [設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]
  - [レイアウト・レイヤー]-[レイアウト]・[レイヤー]・[用途]・[材料]
  - [線種・文字]-[線種]
- ※[レイアウト]にはレイアウト集、図枠の登録が含まれます。
- ライブラリ
- ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号

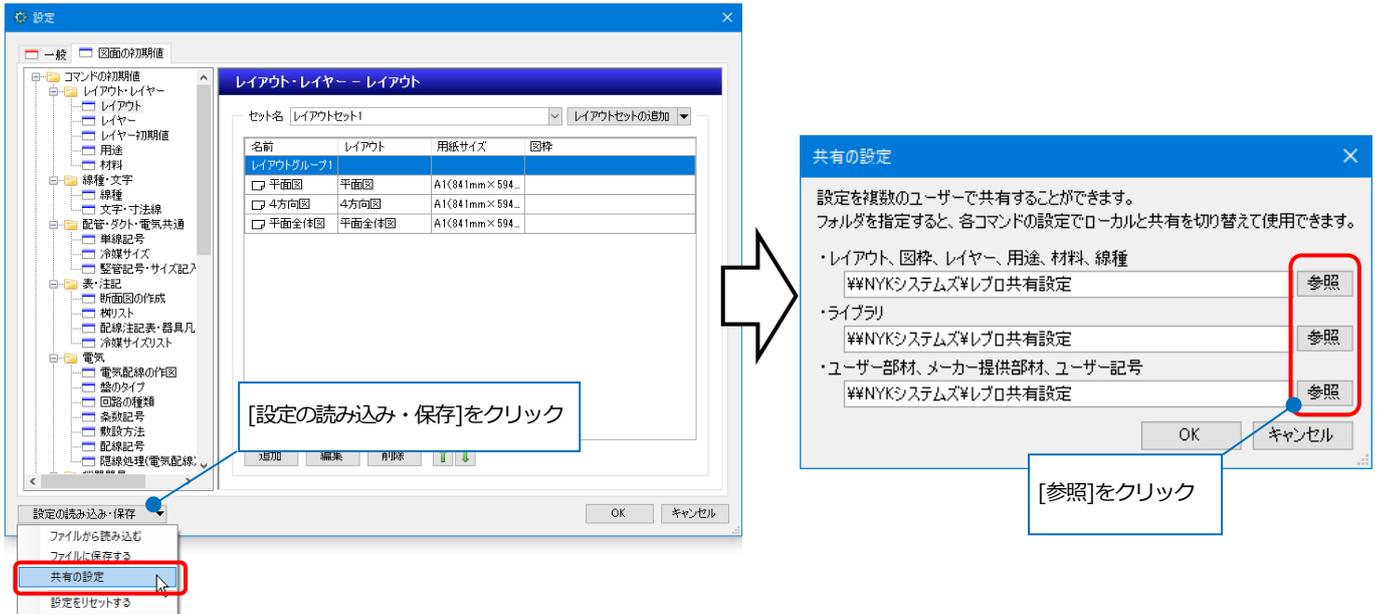


### 共有フォルダの設定

共有する設定は、「レイアウト、図枠、レイヤー、用途、材料、線種」、「ライブラリ」、「ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号」ごとにフォルダを3つに分けて共有場所を指定することができます。事前に複数のユーザーがアクセス可能なネットワーク上にフォルダを用意します。

### 共有フォルダの参照

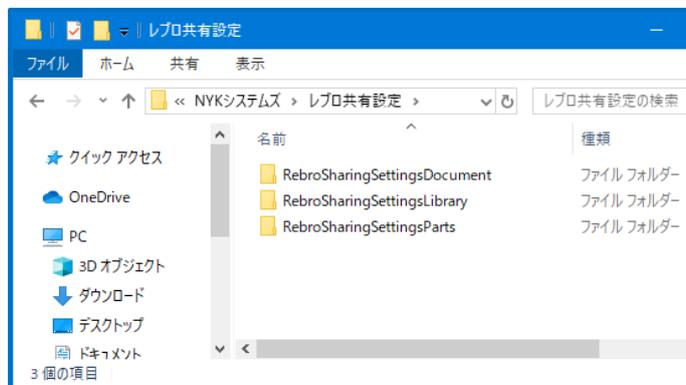
[設定]-[設定の読み込み・保存]-[共有の設定]をクリックし、[共有の設定]ダイアログを開きます。[参照]をクリックし、ネットワーク上の共有フォルダを指定します。新たに指定したフォルダには出荷値の設定が作成されます。



● 補足説明

指定したフォルダ内に各設定の出荷値が入った各々のフォルダが作成されます。

- RebroSharingSettingsDocument : 「レイアウト、図枠、レイヤー、用途、材料、線種」
- RebroSharingSettingsLibrary : 「ライブラリ」
- RebroSharingSettingsParts : 「ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号」

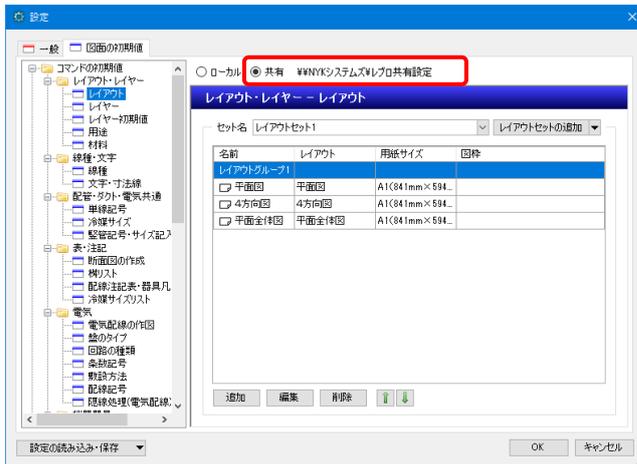


ローカル/共有

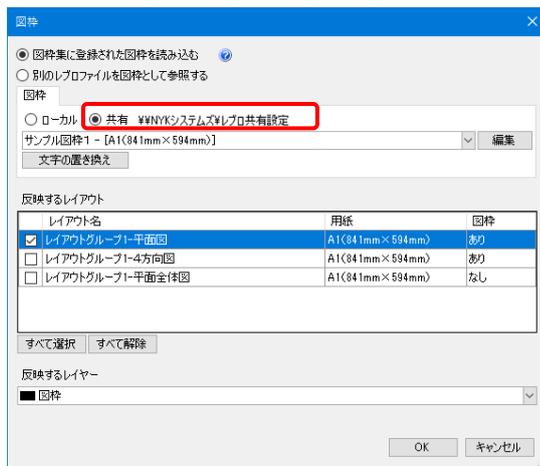
[共有の設定]で共有フォルダを指定すると、設定を参照している各コマンドのダイアログに「ローカル」と「共有」の切り替えが表示されます。「共有」を選択すると、参照先が表示されます。

[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]

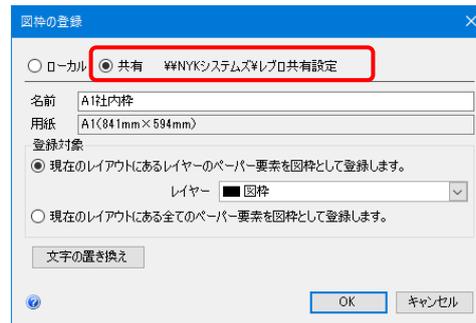
-[レイアウト・レイヤー]-[レイアウト]・[レイヤー]・[用途]・[材料]  
-[線種・文字]-[線種]



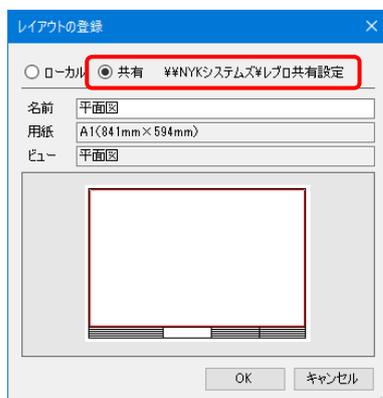
[ホーム]タブ-[図枠]



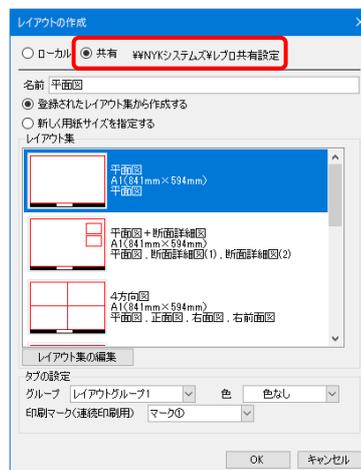
[ホーム]タブ-[図枠の登録]



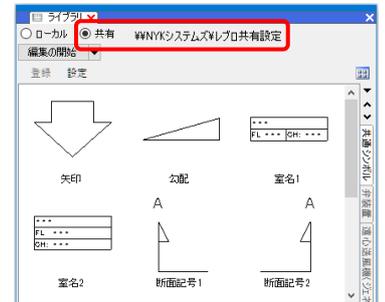
[レイアウトの登録]



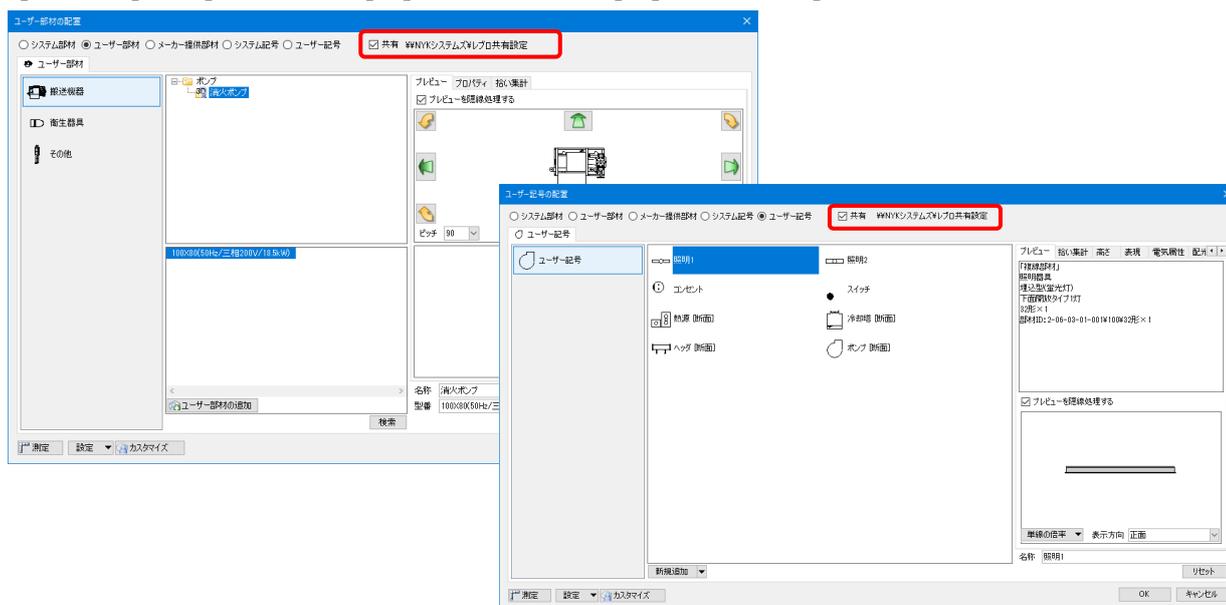
[レイアウトの新規作成]



[ライブラリ]



[機器器具]タブ-[ユーザー部材]・[メーカー提供部材]・[ユーザー記号]



共有データを使う

「共有」に切り替えると、共有フォルダの設定内容を参照します。

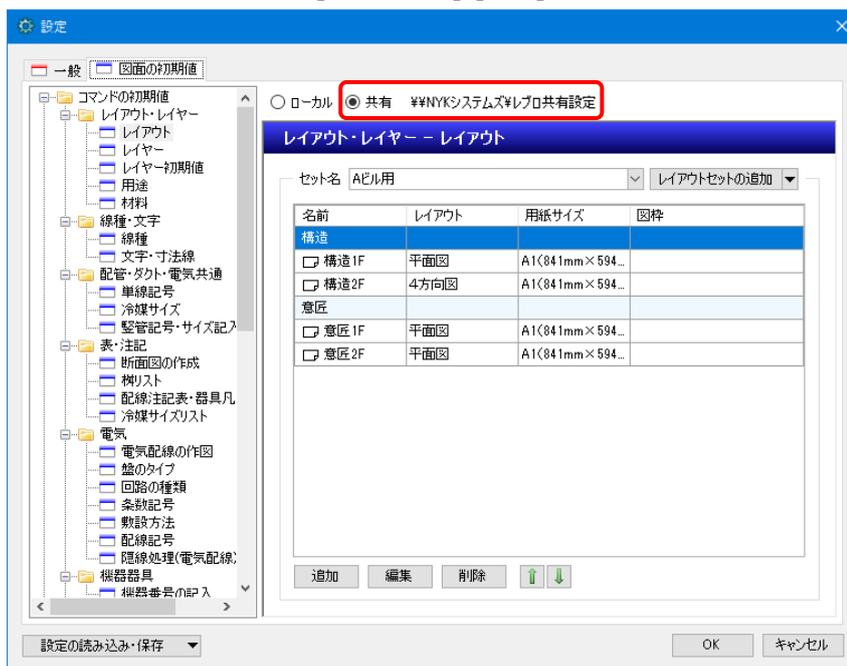
レイアウト、図枠、レイヤー、用途、材料、線種

[図面の初期値]を共有に切り替えると、次に新規図面を開いた時に共有データを参照します。

[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]

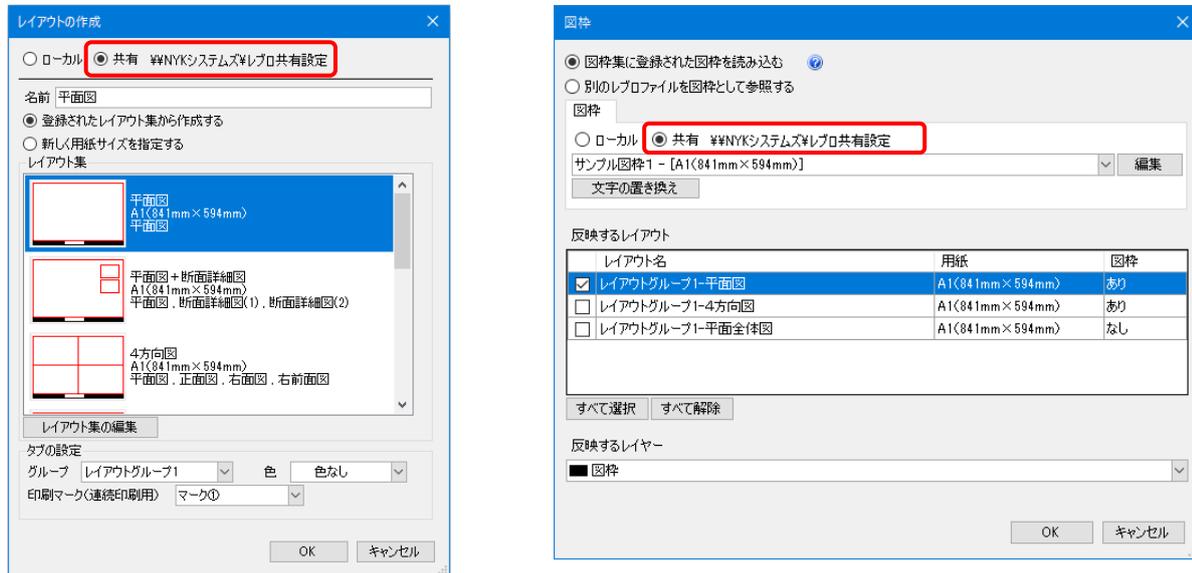
-[レイアウト・レイヤー]-[レイアウト]・[レイヤー]・[用途]・[材料]

-[線種・文字]-[線種]



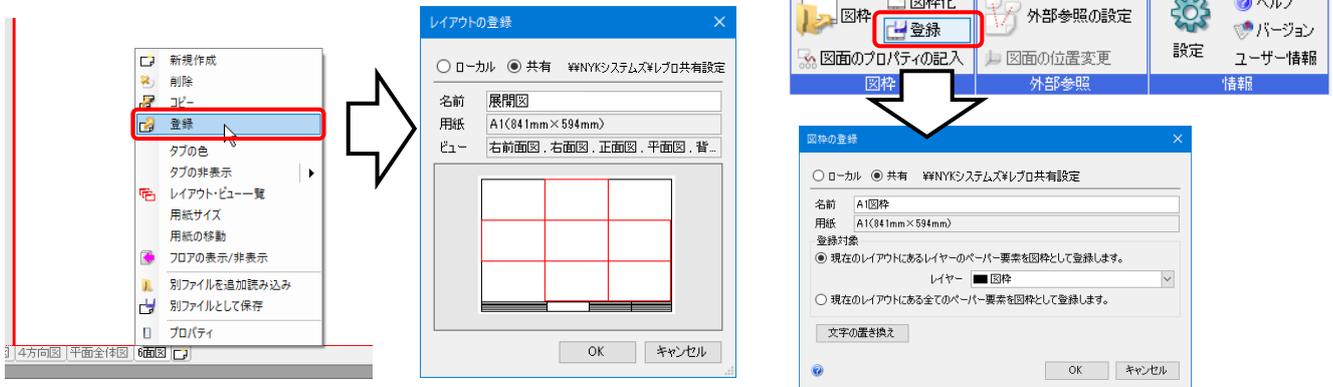
## レイアウト、図枠を追加する

共有データのレイアウトと図枠を使って作図するには、[レイアウトの作成]で「登録されたレイアウト集から作成する」、[ホーム]タブ-[図枠]で「図枠集に登録された図枠を読み込む」を選択し、各ダイアログの「共有」を選択すると、[共有の設定]で「レイアウト、図枠、レイヤー、用途、材料、線種」に作成したフォルダを参照します。



### ● 補足説明

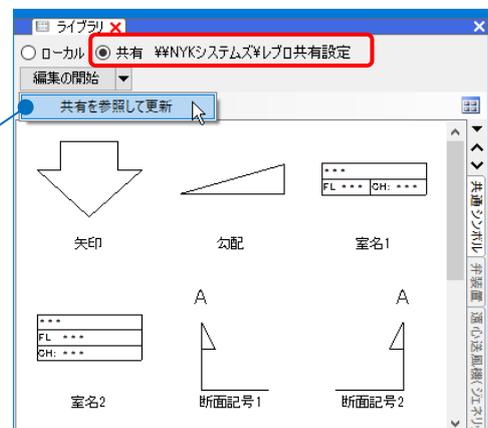
レイアウト集は、レイアウトタブのコンテキストメニューから[登録]、図枠集は、[ホーム]タブ-[登録]でそれぞれ「共有」に切り替えて登録します。



## ライブラリ

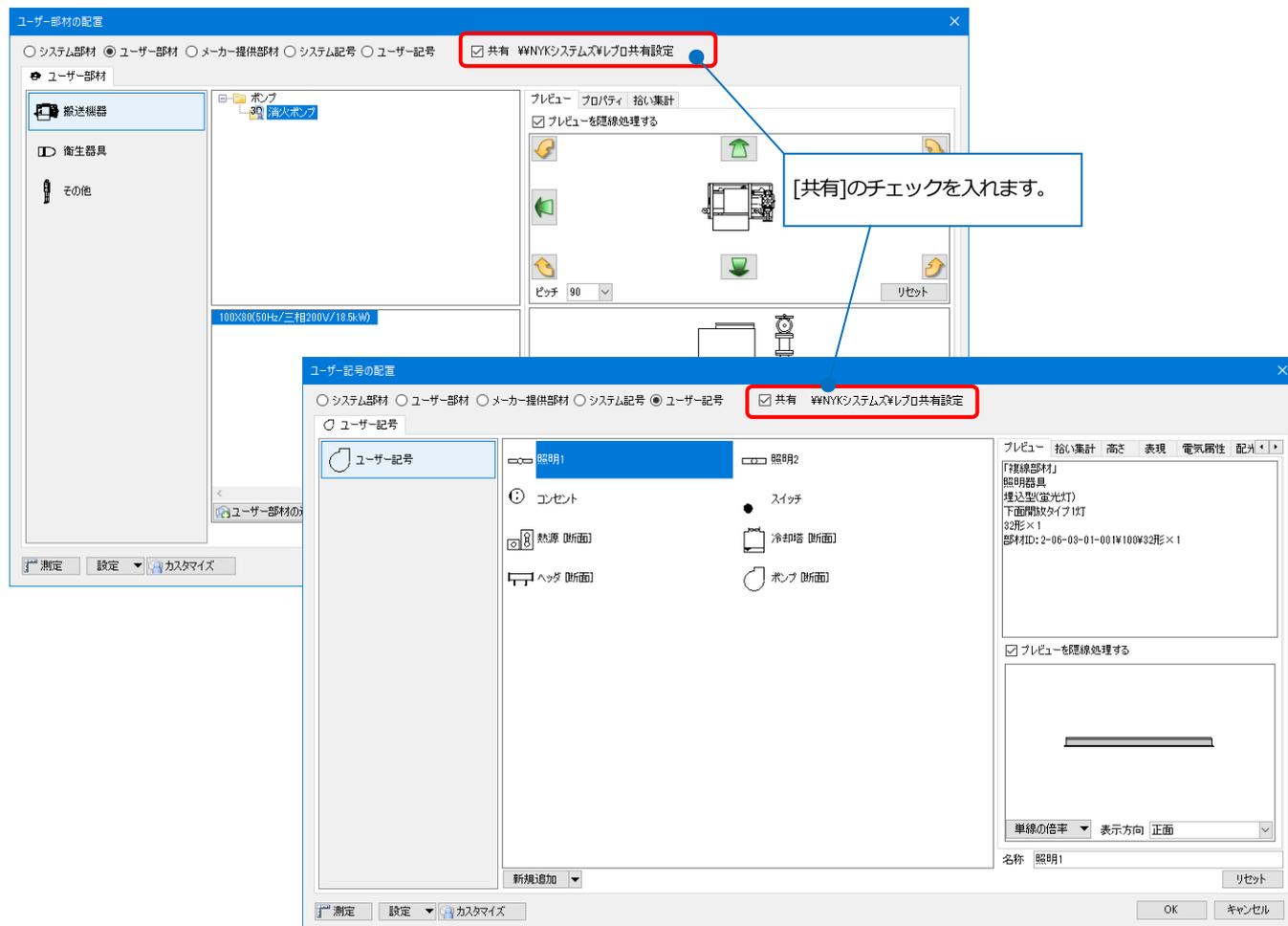
[ライブラリ]パネルの「共有」を選択すると、[共有の設定]で「ライブラリ」に作成したフォルダを参照します。

[編集の開始]横の[▼]をクリックし、[共有を参照して更新]を選択すると共有フォルダを読み込み直します。



## ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号

[機器器具]タブ-[ユーザー部材]、[メーカー提供部材]、[ユーザー記号]を選択し(ユーザー記号は、[電気]タブまたは、[設計(機械)モード]時の[配管]/[ダクト]タブ内からも選択できます。)、[共有]のチェックを入れると、[共有の設定]で「ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号」に作成したフォルダを参照します。



## 2.共有データを追加・編集する

共有データを編集する間、他のユーザーは共有データの編集を行うことはできません。

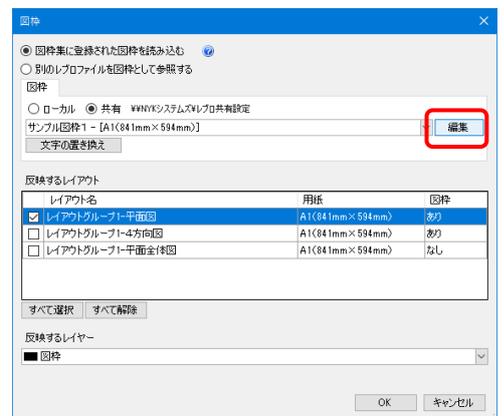
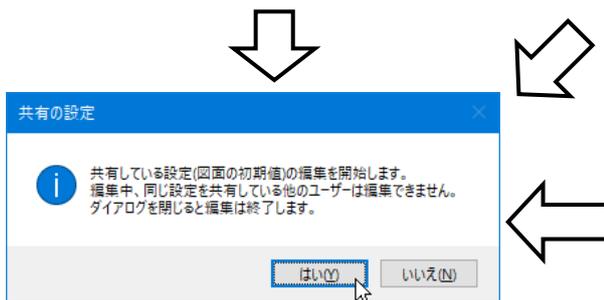
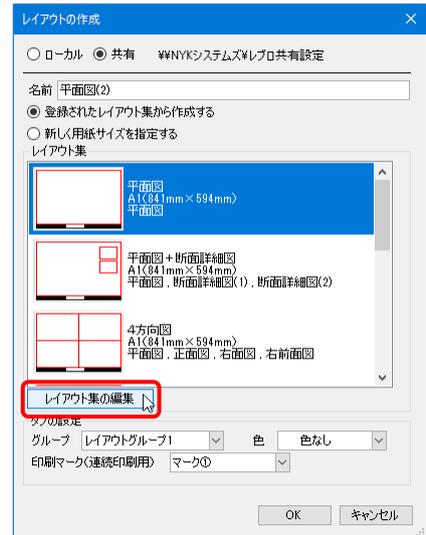
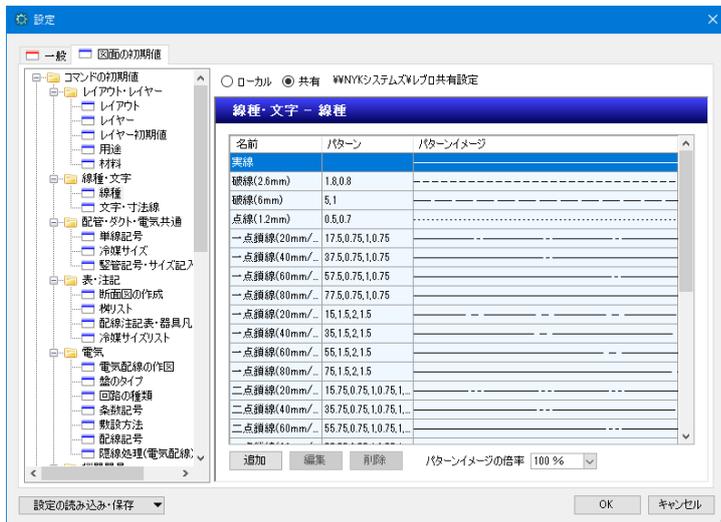
変更されたデータは、各コマンドのダイアログを開き直すと、自動で更新されます。ただし、ライブラリの変更内容は、ライブラリパネルの[共有を参照して更新]をクリックすると更新されます。

### 追加・編集する

#### レイアウト、図枠、レイヤー、用途、材料、線種

[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー]-[レイアウト]・[レイヤー]・[用途]・[材料]、[線種・文字]-[線種]、[レイアウトの作成]、[レイアウトの登録]、[ホーム]タブ-[図枠]、[登録]のダイアログで「共有」に切り替えます。

[設定]では[追加]・[編集]・[削除]、[レイアウトの作成]は[レイアウト集の編集]、[図枠]は[編集]をクリックした時に[共有の設定]ダイアログが表示され、[はい]をクリックします。



Memo

他のPCで編集中に  
[編集]をクリックすると、  
警告が表示されます。

**共有の設定**

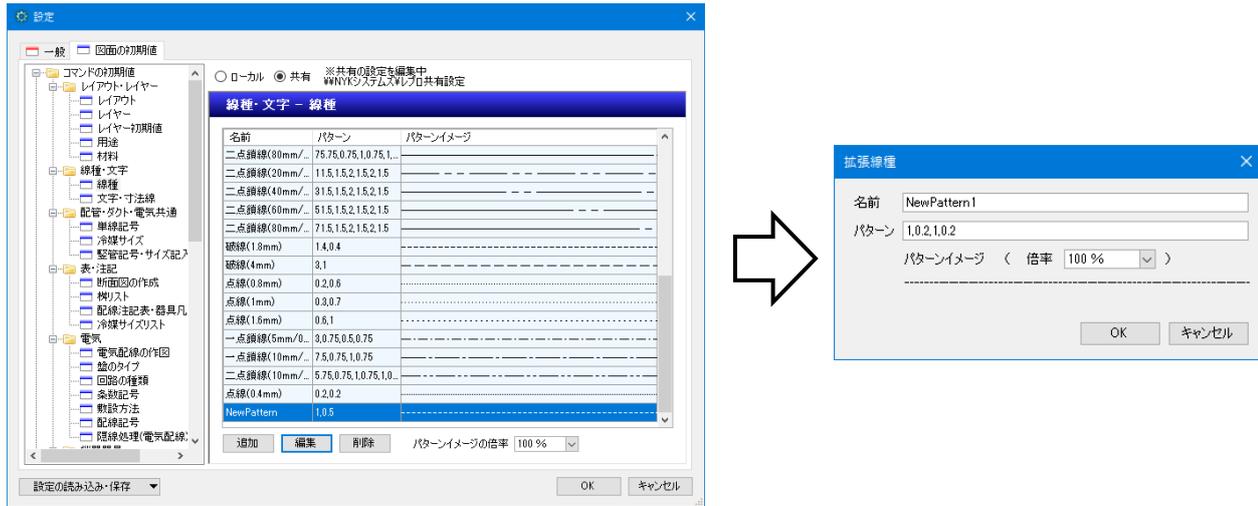
**×** 共有設定が他のユーザーにより編集中のため、編集を開始することができません。

<編集中のユーザー>  
PC名  
アカウント  
2022年02月08日 14時06分56秒

OK

## Rebro2022 操作ガイド

設定内容を変更します。例えば、[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]タブ-[線種・文字]-[線種]を編集する場合、[編集]をクリックし、線種名、線種パターンを変更します。



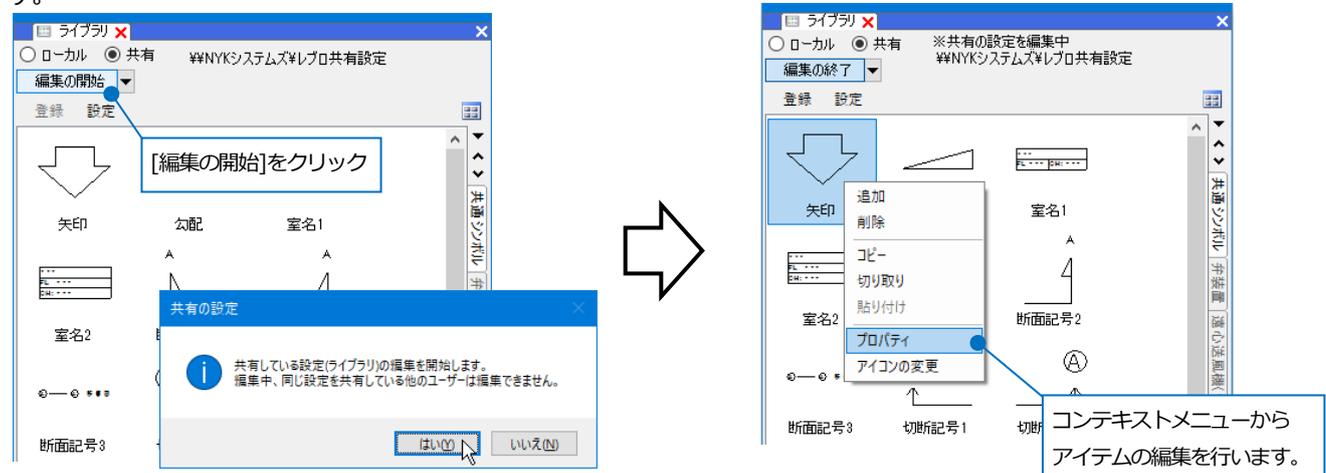
設定の変更後、[設定]ダイアログの[OK]をクリックすると、共有データに設定が保存されます。ダイアログを閉じると共有データの編集は終了します。

## ライブラリ

ライブラリパネルを開き、「共有」に切り替え、[編集の開始]をクリックします。

[共有の設定]ダイアログが表示され、[はい]をクリックします。

アイテムの追加や削除、コピー、切り取り、貼り付け、プロパティの変更、アイテムの位置変更を行うことができます。



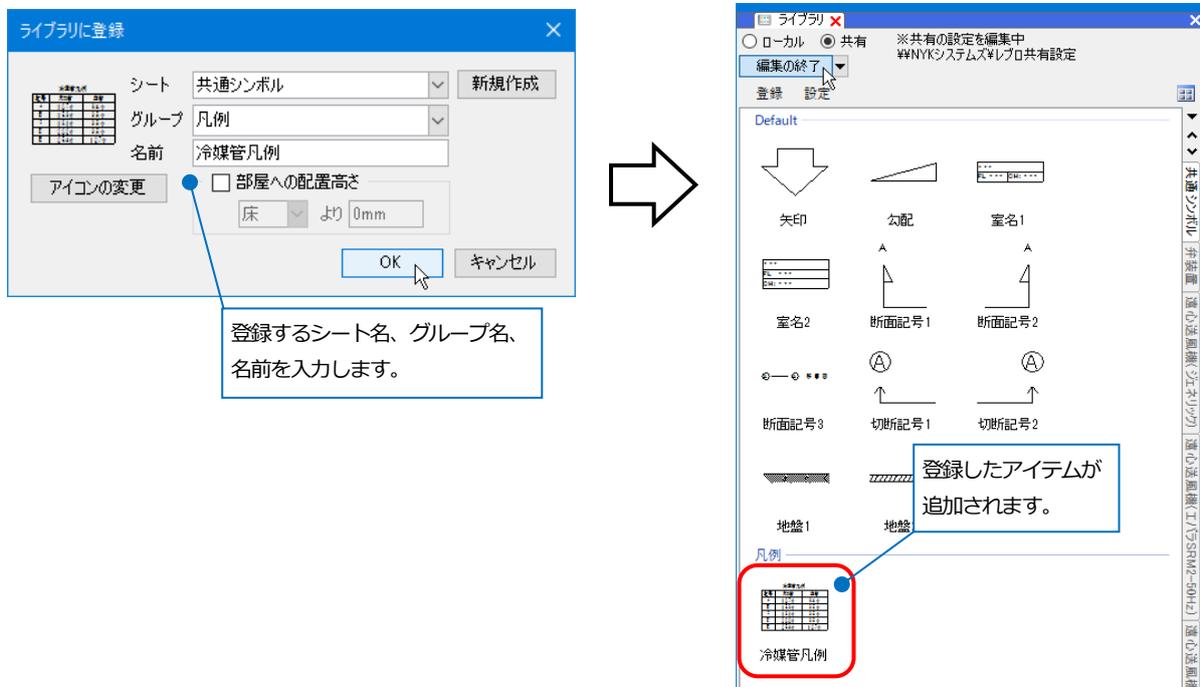
Memo

他の PC で編集中に[編集の開始]をクリックすると、警告が表示されます。

共有のライブラリに登録します。要素を選択し、コンテキストメニューの[その他]-[ライブラリに登録]をクリックします。



基準位置を指定し、[ライブラリに登録]ダイアログからシート、グループ、名前を入力し、[OK]をクリックします。



[編集の終了]をクリックします。

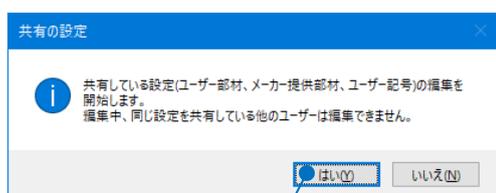
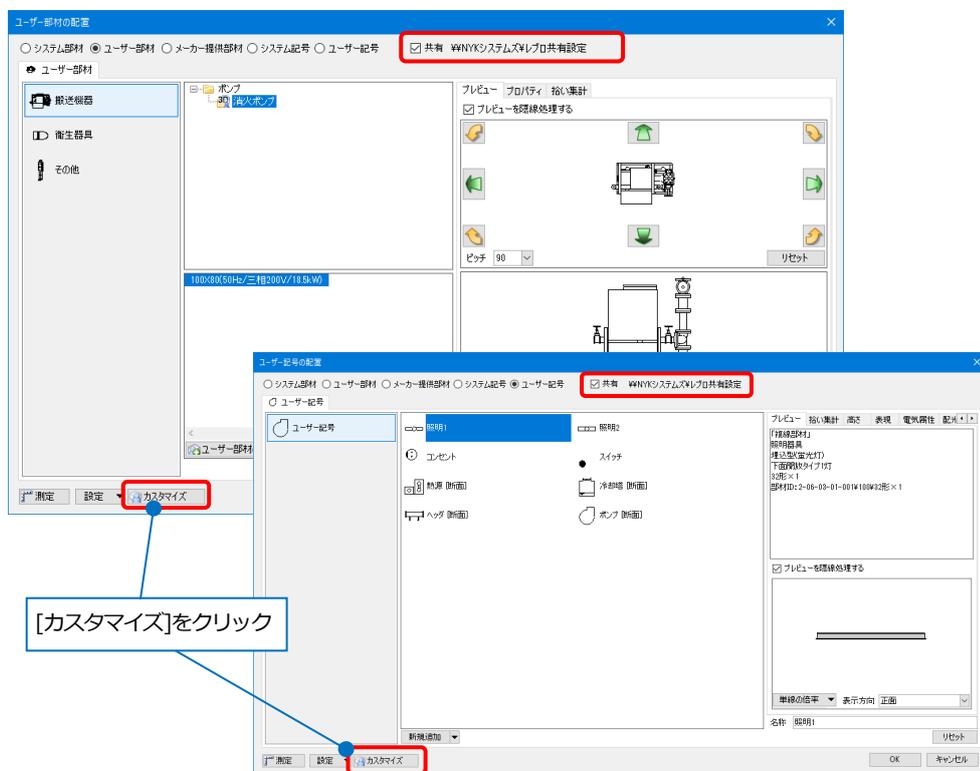
Memo

[共有を参照して更新]をクリックすると、他のPCで編集された内容を参照し、ライブラリを最新の状態に更新します。

### ユーザー部品、メーカー提供部品、ユーザー記号

[機器器具]タブ-[ユーザー部品]、[メーカー提供部品]、[ユーザー記号]のいずれかを起動します。(ユーザー記号は、[電気]タブまたは、[設計(機械)モード]時の[配管]/[ダクト]タブ内からも起動できます。)

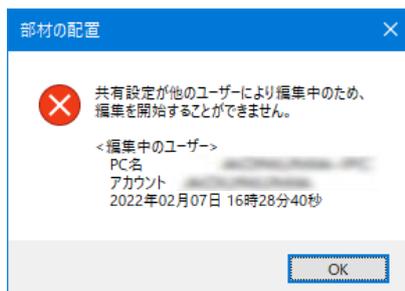
[共有]のチェックを入れ、[カスタマイズ]をクリックします。



[はい]をクリック

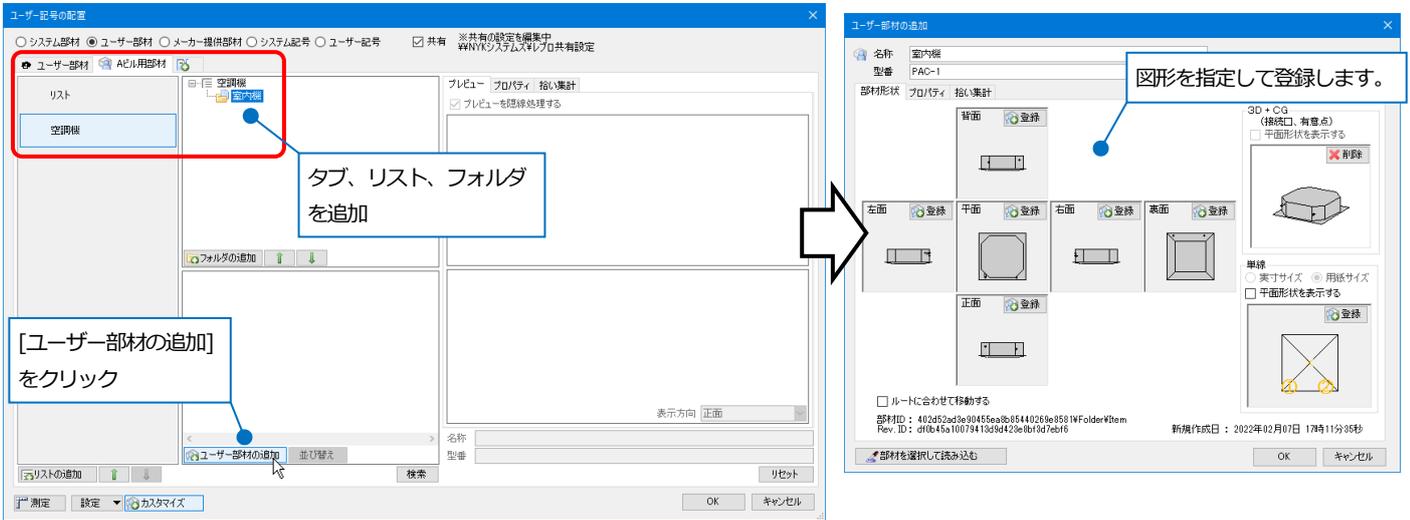
#### Memo

他の PC で編集中に[カスタマイズ]をクリックすると、警告が表示されます。

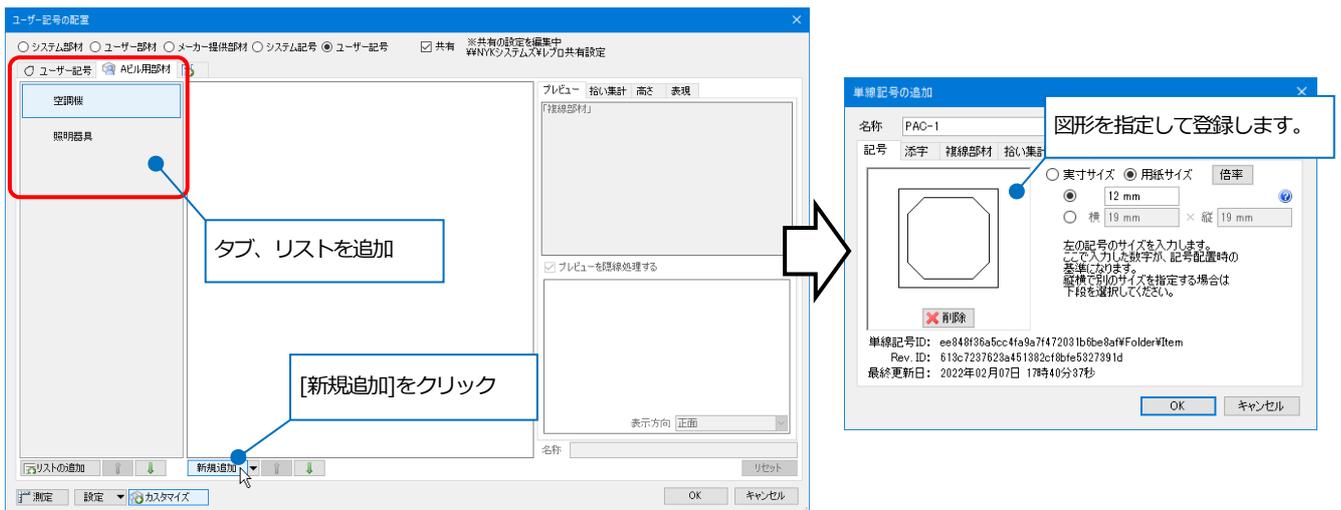


タブやリストなどを追加・編集します。ユーザー部材を登録する場合は、[ユーザー部材の追加]を、ユーザー記号を登録する場合は、[新規追加]をクリックして、図形を指定して登録します。

ユーザー部材



ユーザー記号



ダイアログを閉じると共有データの編集を終了します。

● 補足説明

メーカー提供部材は、ホームページからダウンロードしたファイルを[設定]-[ファイルからユーザー部材の読み込み]で読み込みます。

[カスタマイズ]では、タブやフォルダの削除、リストの変更・削除、型番のコピー・削除などができます。

メーカー提供部材のタブ名やフォルダ名を変更することはできません。

## 共有データをローカルにコピーする(社外に持ち出す)

[設定]で共有データの設定ファイルを保存し、保存したファイルをローカルデータに読み込みます。読み込むと、設定内容が共有データで保存した内容に置き換わります。(図枠集とレイアウト集については、追加読み込みします。)

[設定]-[設定の読み込み・保存]-[ファイルに保存する]を選択します。[ファイルに保存する]ダイアログから保存する項目を選択します。[部材の設定]-[ユーザー部材]、[ユーザー記号]、[ライブラリ]を選択すると、登録した部材をすべて保存します。

「共有」を選択し、[OK]をクリックして共有データの設定ファイル(\*.RebroLocalSettings)を保存します。

名前	パターン	パターンイメージ
実線		
破線(2.6mm)	1.0.0.8	
破線(6mm)	5.1	
点線(1.2mm)	0.5.0.7	
一点鎖線(20mm/..)	17.5.0.75.1.0.75	
一点鎖線(40mm/..)	37.5.0.75.1.0.75	
一点鎖線(60mm/..)	57.5.0.75.1.0.75	
一点鎖線(80mm/..)	77.5.0.75.1.0.75	
一点鎖線(20mm/..)	15.1.5.2.1.5	
一点鎖線(40mm/..)	35.1.5.2.1.5	
一点鎖線(60mm/..)	55.1.5.2.1.5	
一点鎖線(80mm/..)	75.1.5.2.1.5	
二点鎖線(20mm/..)	15.75.0.75.1.0.75.1.	
二点鎖線(40mm/..)	35.75.0.75.1.0.75.1.	
二点鎖線(60mm/..)	55.75.0.75.1.0.75.1.	

保存した設定をローカルデータに反映します。

[設定]-[設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]を選択し、保存した設定ファイルを指定します。ダイアログから読み込む項目にチェックを入れ、「ローカル」を選択します。ダイアログをすべて[OK]で閉じると、ローカルデータに反映します。

## Memo

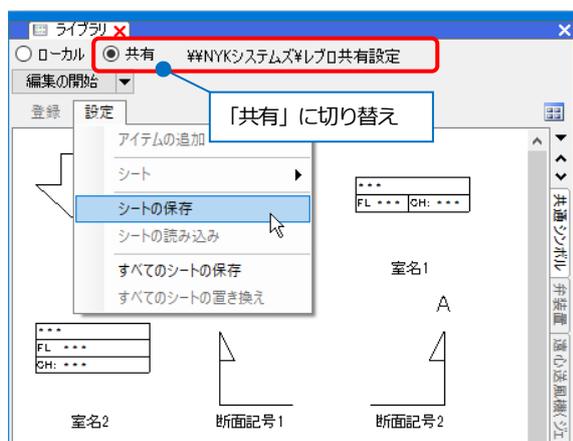
図枠集、レイアウト集、ユーザー部材、ユーザー記号、ライブラリについては、[ファイルから読み込む]ダイアログを[OK]で閉じるとローカルデータに反映します。その他の設定については、[設定]ダイアログを[OK]で閉じた後に反映します。

## ● 補足説明

登録したライブラリの一部のシートや、ユーザー部材、ユーザー記号の中から部材を選択してコピーしたい場合、また、既存のローカルデータに保存されている部材を残したい場合は、各コマンドから設定ファイルを保存し、ローカルデータに読み込みます。

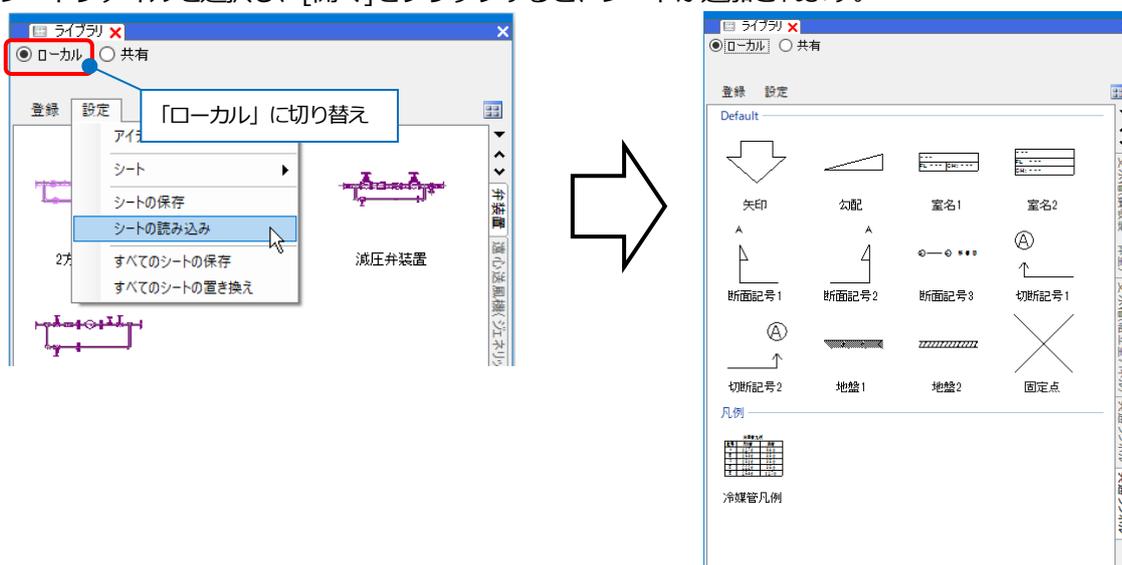
## ライブラリ

ライブラリパネルを開き、「共有」に切り替えて、[設定]-[シートの保存]をクリックし、ライブラリシートファイル(\*.RebroLibrarySheet)を保存します。



保存したシートを、ローカルデータに反映します。

ライブラリパネルで「ローカル」に切り替え、[設定]-[シートの読み込み]をクリックします。読み込むライブラリシートファイルを選択し、[開く]をクリックすると、シートが追加されます。



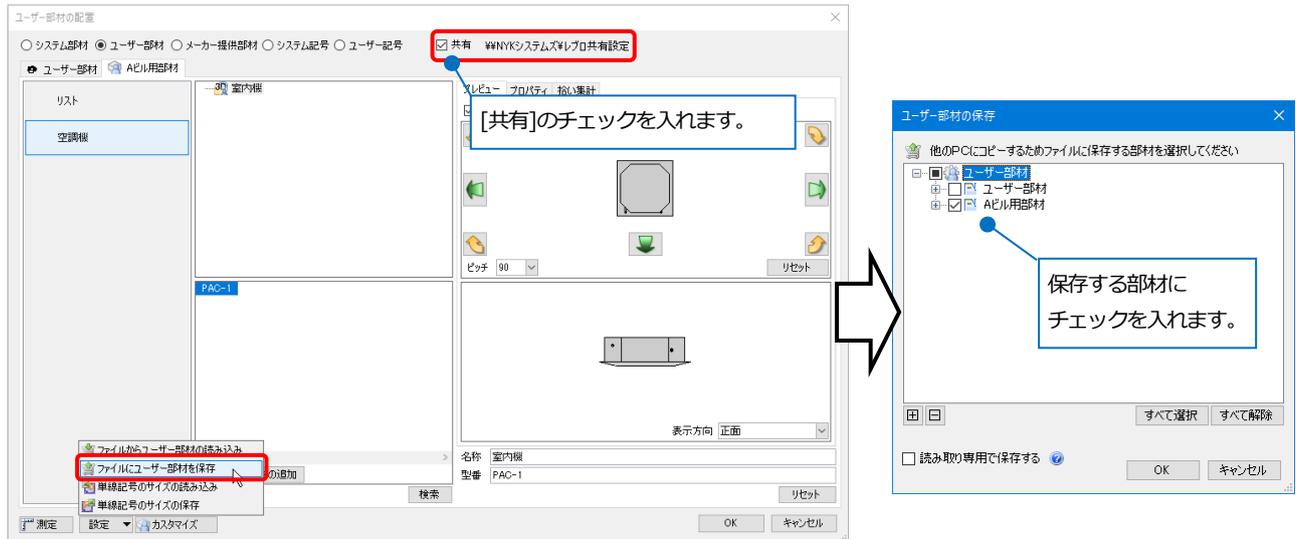
## ユーザー部材、ユーザー記号

[機器器具]タブ-[ユーザー部材]、[ユーザー記号]のいずれかを起動します。(ユーザー記号は、[電気]タブまたは、[設計(機械)モード]時の[配管]/[ダクト]タブ内からも起動できます。)

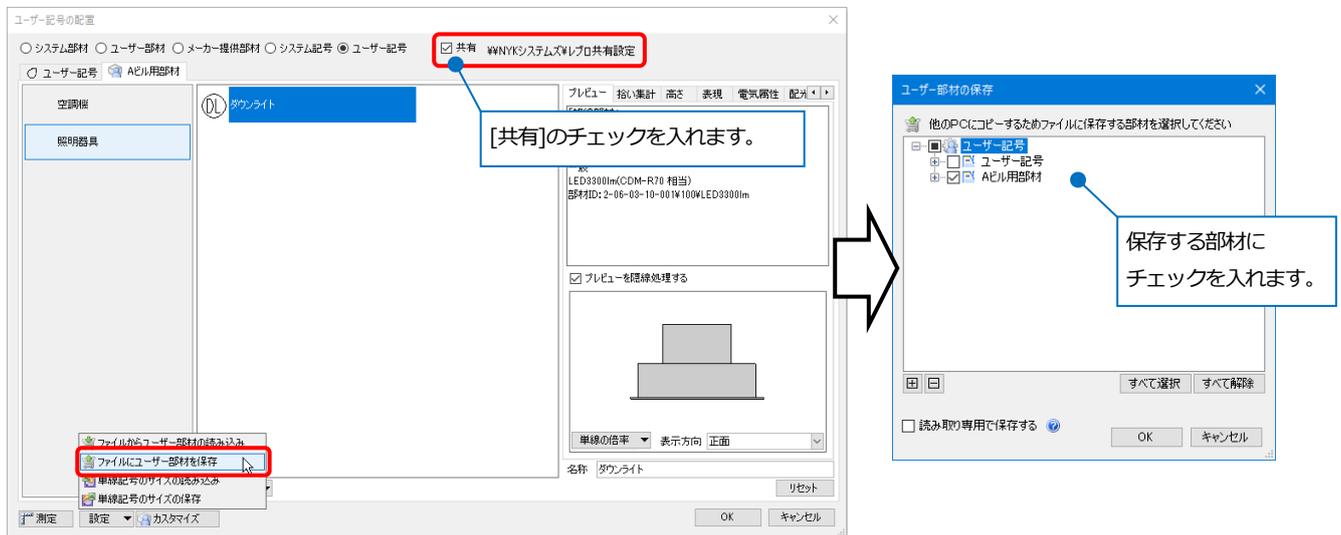
[共有]のチェックを入れます。[設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]をクリックし、保存するユーザー部材または、ユーザー記号を選択し、[OK]をクリックします。

ユーザー部材ファイル(\*.RebroPartsSheets)を保存します。

### ユーザー部材



### ユーザー記号

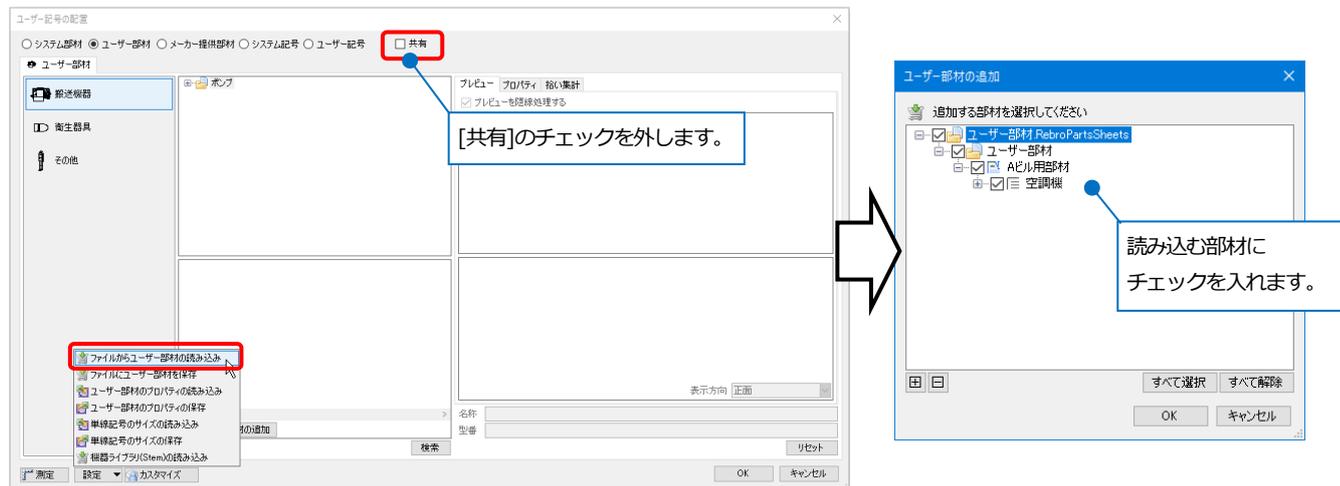


保存したユーザー部材または、ユーザー記号をローカルデータに反映します。

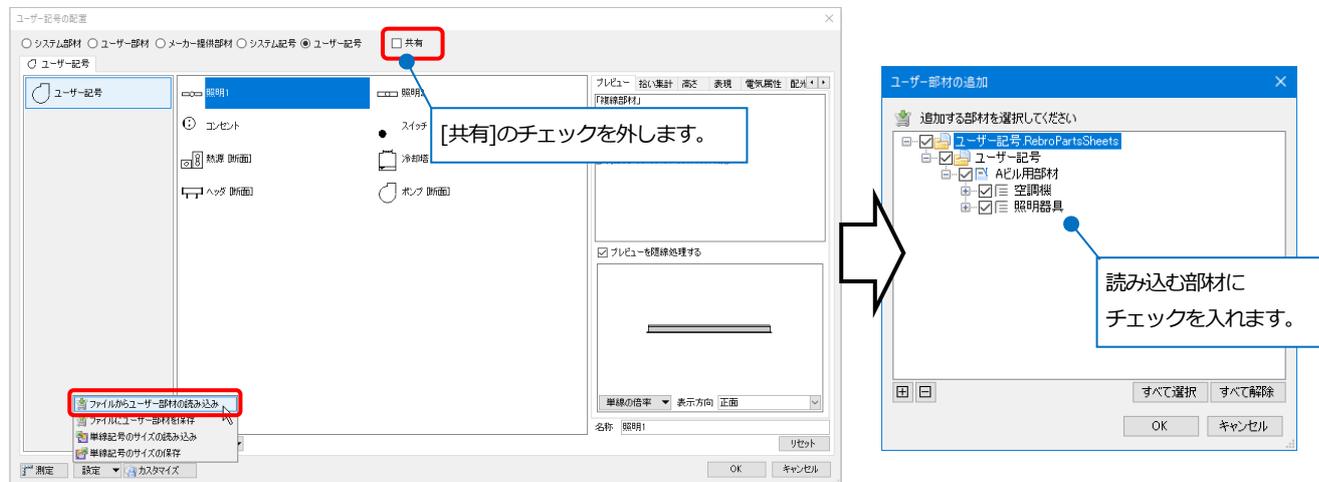
[共有]のチェックを外し、[設定]-[ファイルからユーザー部材の読み込み]をクリックして、読み込むユーザー部材ファイルを選択します。

[ユーザー部材の追加]ダイアログより、読み込む部材にチェックを入れ、[OK]をクリックすると、部材が読み込まれます。

### ユーザー部材



### ユーザー記号



### メーカー提供部材

メーカー提供部材は、ホームページからダウンロードしたファイルを直接「ローカル」で読み込みます。

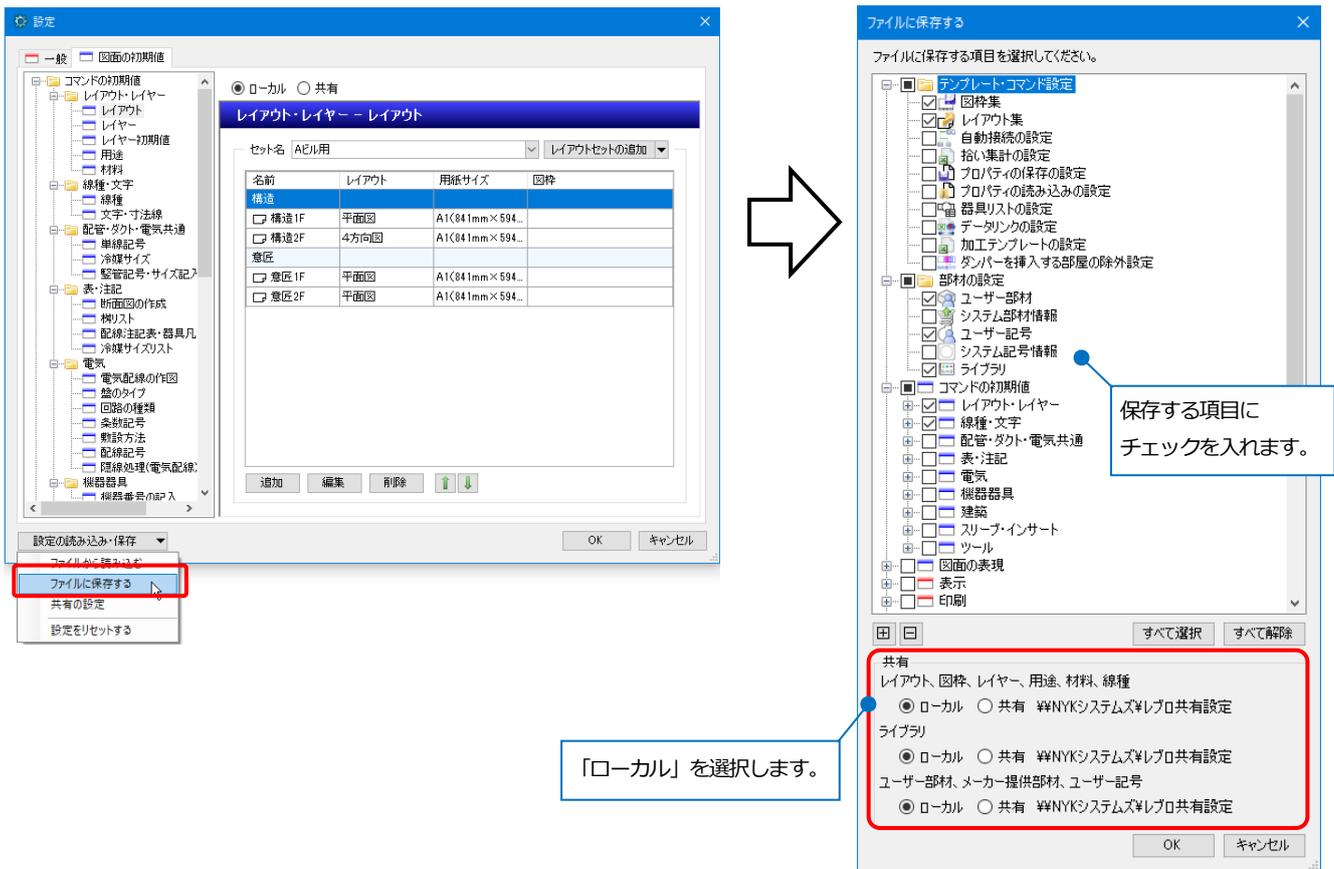
共有で読み込んだメーカー提供部材を[設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]でファイルに保存することはできません。

## ローカルデータを共有データにコピーする(管理者向け)

[設定]でローカルデータの設定ファイルを保存し、保存したファイルを共有データに読み込みます。読み込むと、設定内容がローカルデータで保存した内容に置き換わります。(図枠集とレイアウト集については、追加読み込みします。)

[設定]-[設定の読み込み・保存]-[ファイルに保存する]を選択します。[ファイルに保存する]ダイアログから保存する項目を選択します。[部材の設定]-[ユーザー部材]、[ユーザー記号]、[ライブラリ]を選択すると、登録した部材をすべて保存します。

「ローカル」を選択し、[OK]をクリックしてローカルデータの設定ファイル(\*.RebroLocalSettings)を保存します。



保存した設定を共有に反映します。

[設定]-[設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]を選択し、保存した設定ファイルを指定します。ダイアログから読み込む項目にチェックを入れ、「共有」を選択し、[OK]をクリックします。[共有の設定]ダイアログの[はい]をクリックし、[設定]ダイアログを[OK]で閉じると、共有データに反映します。

※[設定]ダイアログを閉じると、編集の状態が解除されます。

設定

設定の読み込み・保存

ファイルから読み込む

ファイルに保存する  
共有の設定  
設定をリセットする

ファイルから読み込む

読み込む項目を選択してください。  
※一部の設定は読み込みと同時に反映されます。  
※反映されると現在の内容は失われます。

テンプレート・コマンド設定  
図枠集  
レイアウト集  
部材の設定  
ユーザー部材  
ユーザー記号  
ライブラリ  
コマンドの初期値  
レイアウト・レイヤー  
線種・文字

共有  
レイアウト、図枠、レイヤー、用途、材料、線種  
ライブラリ

ローカル  共有 ※NYKシステムズ#レボ共有設定

ローカル  共有 ※NYKシステムズ#レボ共有設定

ローカル  共有 ※NYKシステムズ#レボ共有設定

共有の設定

共有している設定(図面の初期値)の編集を開始します。  
編集時、同じ設定を共有している他のユーザーは編集できません。  
ダイアログを閉じると編集は終了します。

共有の設定

共有している設定(ライブラリ)の編集を開始します。  
編集時、同じ設定を共有している他のユーザーは編集できません。

共有の設定

共有している設定(ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号)の編集を開始します。  
編集時、同じ設定を共有している他のユーザーは編集できません。

設定

レイアウト・レイヤー - レイアウト

セット名 レイアウトセット1

名前	レイアウト	用紙サイズ	図枠
レイアウトグループ1			
<input type="checkbox"/> 平面図	平面図	A1(841mm×594...	
<input type="checkbox"/> 4方向図	4方向図	A1(841mm×594...	
<input type="checkbox"/> 平面全体図	平面全体図	A1(841mm×594...	

追加 編集 削除

「共有」を選択します。

ローカルの設定内容が反映されます。

Memo

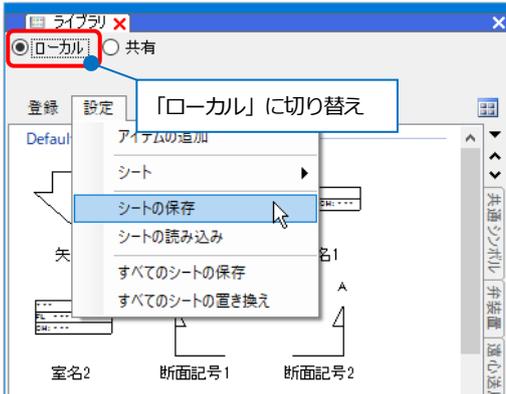
図枠集、レイアウト集、ユーザー部材、ユーザー記号、ライブラリについては、[共有の設定]ダイアログを[はい]で閉じると共有データに反映します。その他の設定については、[設定]ダイアログを[OK]で閉じた後に反映します。

- 補足説明

登録したライブラリの一部のシートや、ユーザー部材、ユーザー記号の中から部材を選択してコピーしたい場合、また、既存の共有データに保存されている部材を残したい場合は、各コマンドから設定ファイルを保存し、共有データに読み込みます。

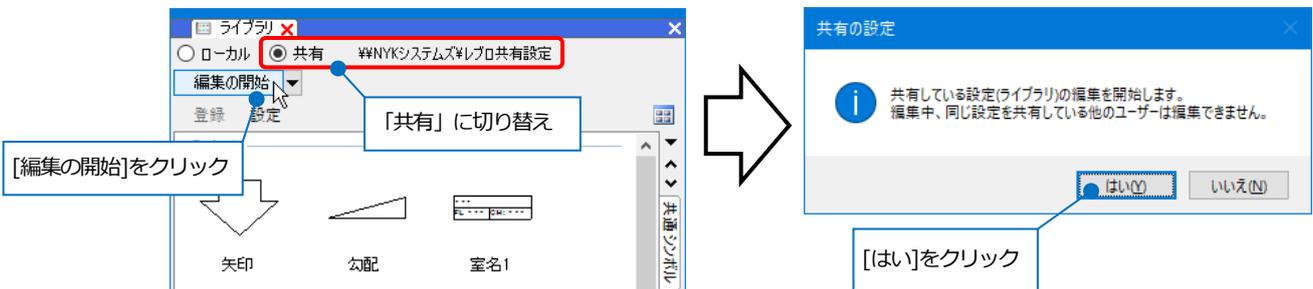
### ライブラリ

ライブラリパネルを開き、「ローカル」に切り替えて、[設定]-[シートの保存]をクリックし、ライブラリシートファイル(\*.RebroLibrarySheet)を保存します。

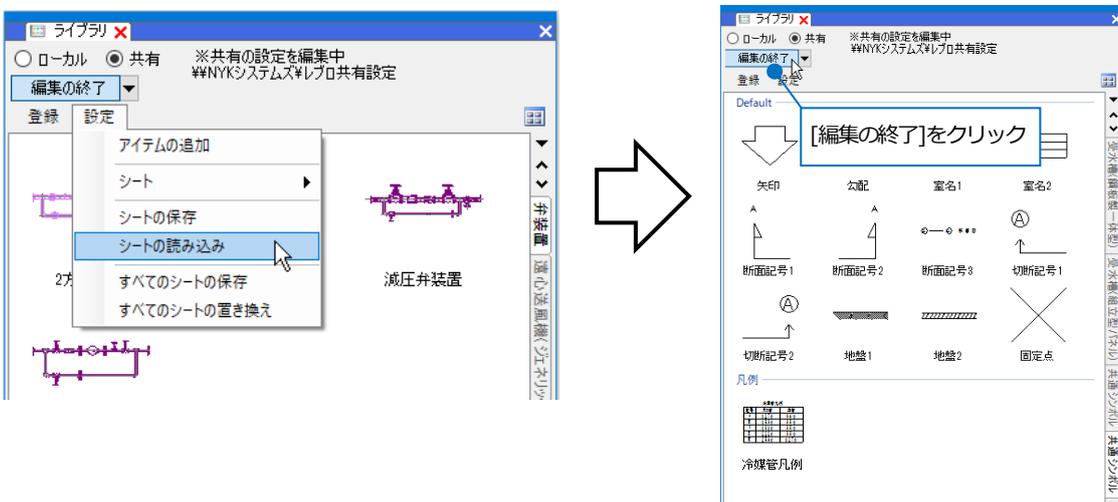


保存したシートを、共有データに反映します。

ライブラリパネルで「共有」に切り替え、[編集の開始]をクリックします。



[設定]-[シートの読み込み]をクリックします。読み込むライブラリシートファイルを選択し、[開く]をクリックすると、シートが追加されます。



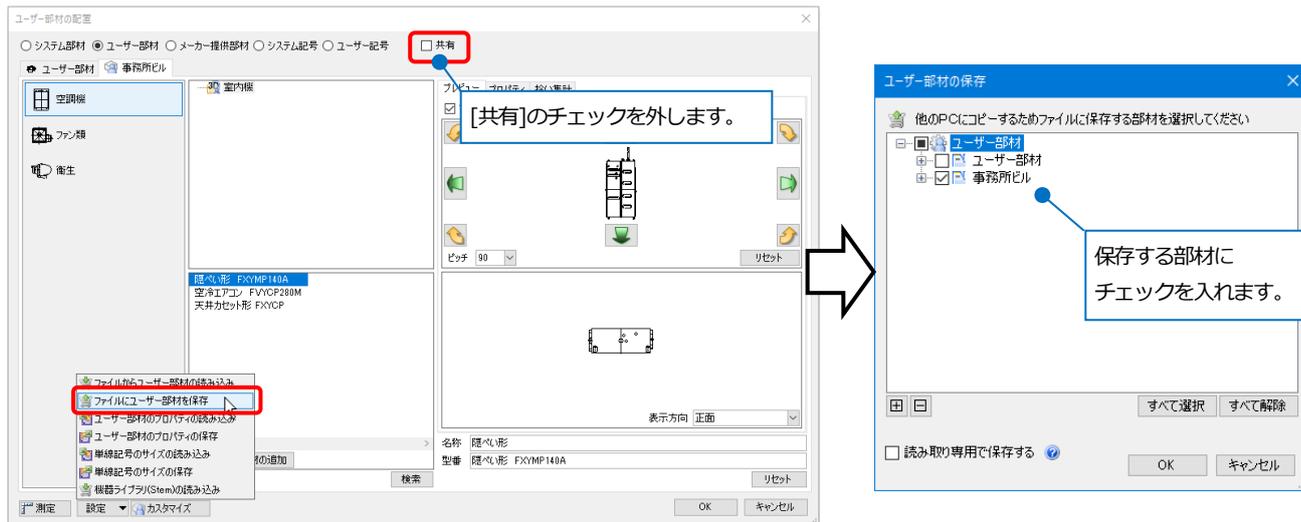
## ユーザー部材、ユーザー記号

[機器器具]タブ-[ユーザー部材]、[ユーザー記号]のいずれかを起動します。(ユーザー記号は、[電気]タブまたは、[設計(機械)モード]時の[配管]/[ダクト]タブ内からも起動できます。)

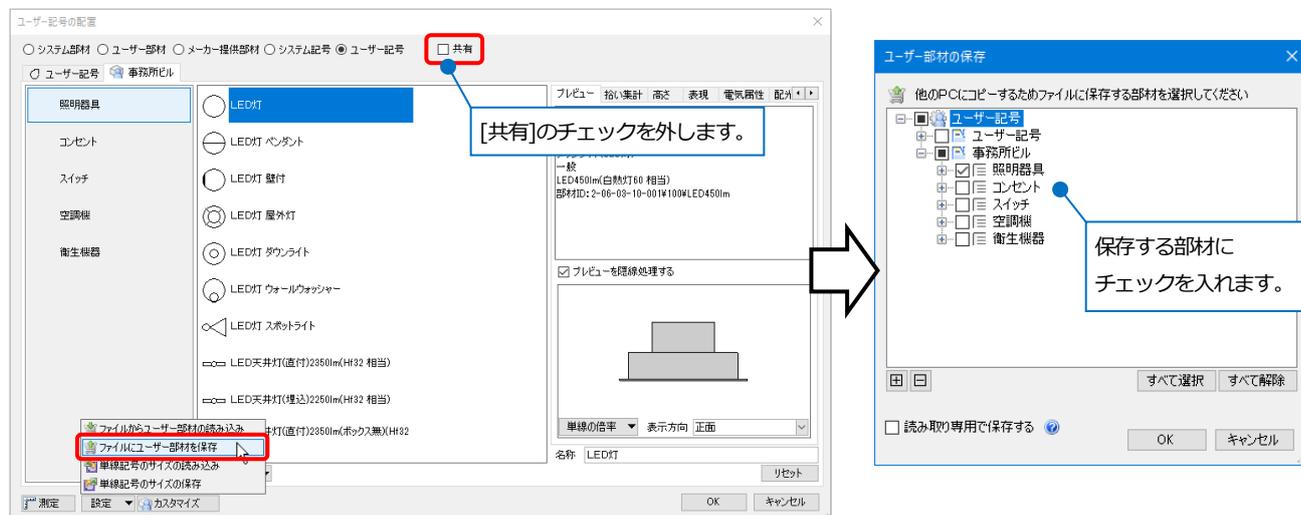
[共有]のチェックを外します。[設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]をクリックし、保存するユーザー部材または、ユーザー記号を選択し、[OK]をクリックします。

ユーザー部材ファイル(\*.RebroPartsSheets)を保存します。

### ユーザー部材



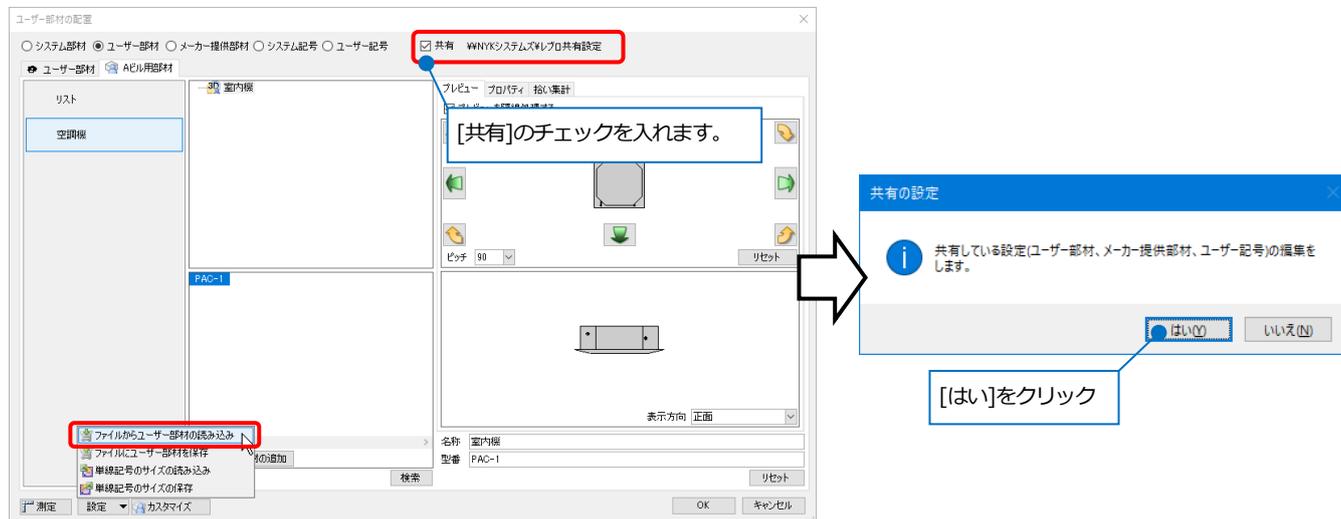
### ユーザー記号



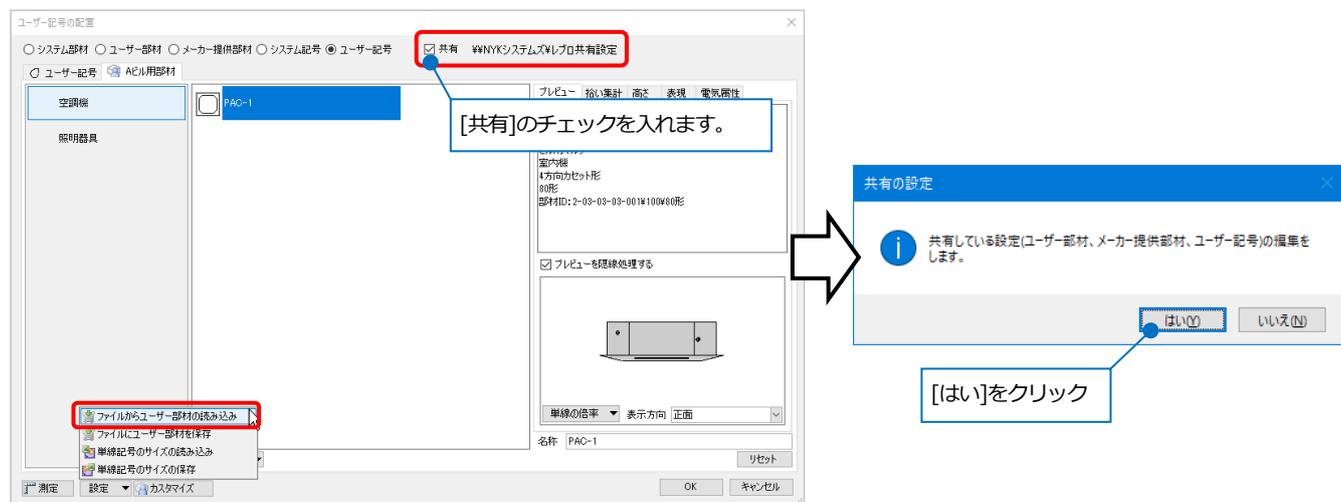
保存したユーザー部材または、ユーザー記号を共有データに反映します。

[共有]にチェックを入れ、[設定]-[ファイルからユーザー部材の読み込み]をクリックします。[共有の設定]ダイアログの[はい]をクリックします。

### ユーザー部材

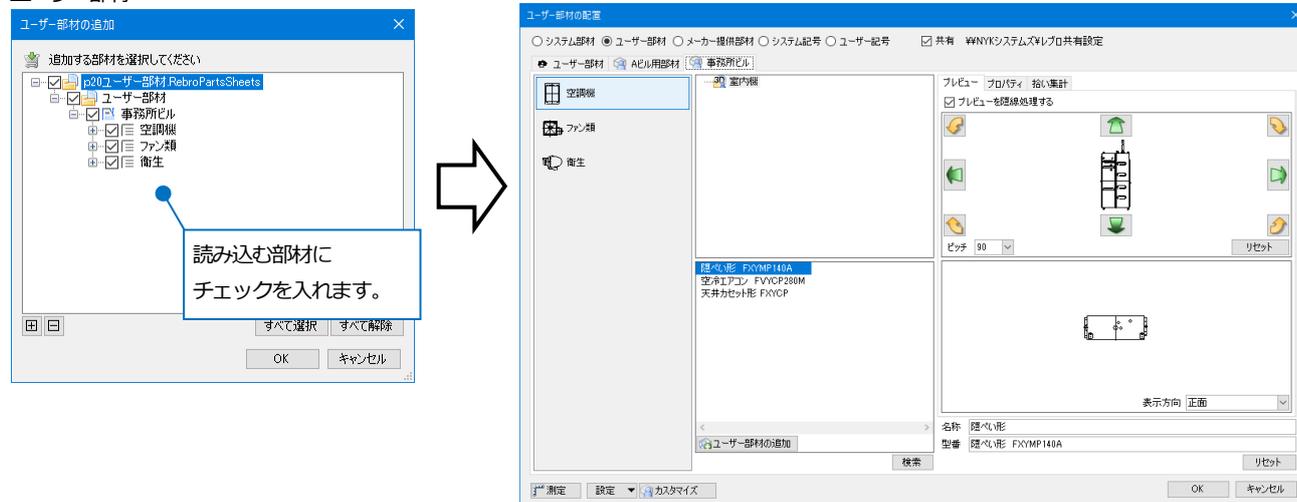


### ユーザー記号

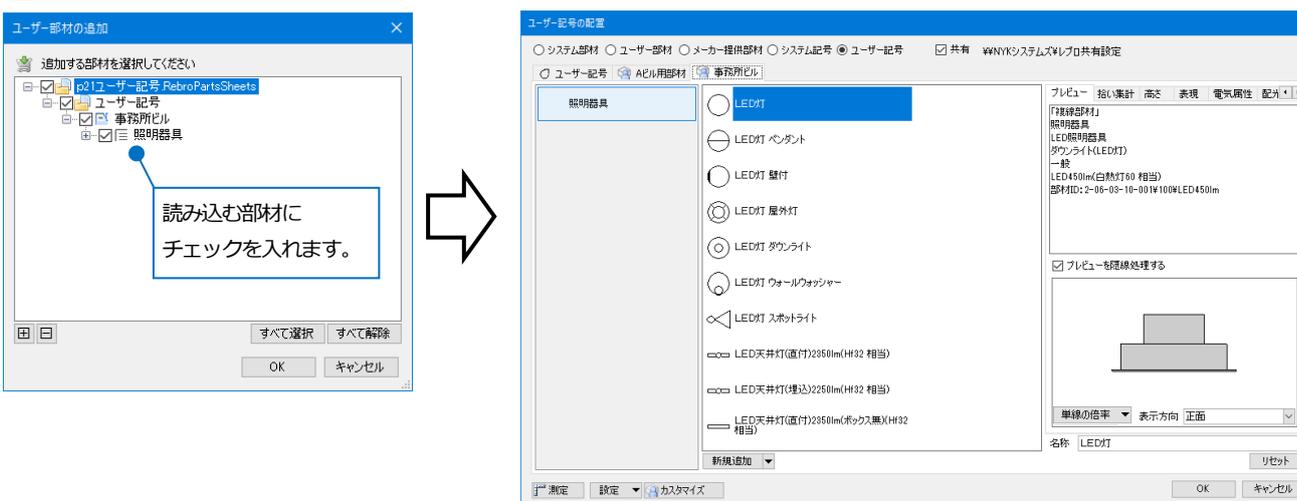


読み込むユーザー部材ファイルを選択し、[ユーザー部材の追加]ダイアログで読み込む部材にチェックを入れます。[OK]をクリックすると、部材が読み込まれます。ダイアログを閉じると共有データの編集は終了します。

### ユーザー部材



### ユーザー記号



### メーカー提供部材

メーカー提供部材は、ホームページからダウンロードしたファイルを直接「共有」で読み込みます。

ローカルで読み込んだメーカー提供部材を[設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]でファイルに保存することはできません。

## 共有データのバックアップを取る(管理者向け)

[設定]-[設定の読み込み・保存]の[共有の設定]で指定している各項目のフォルダを、Windows のエクスプローラーで別のフォルダなどにコピーします。

